

発刊にあたって

練馬区は、昭和22年8月1日に板橋区から分離・独立し、本年8月1日に65周年を迎えました。独立当時、人口約11万人の近郊農業地域であった練馬区は、65年の歳月を経て、今では、全国20番目の人口規模を持つ大住宅都市へと目覚ましい発展を遂げました。これは、練馬区がみどりの豊かな、安全で安心して暮らすことができるまちであるという証左であります。

区では、さらなる発展を遂げるため基本構想に掲げた「ともに築き 未来へつなぐ 人とみどりが輝く わがまち練馬」の実現に向けて、長期計画に定めた施策・事業を着実に推進するとともに、今年度は、長期計画（平成22年度～26年度）の後半3か年を計画期間とする後期実施計画の初年度にあたり、長期計画の体系を踏まえた組織改正を行い、全庁をあげて区民福祉のさらなる向上に向けた取組を一層強化しております。

一方、区の財政状況は、厳しい経済状況下を受け、歳入の増加が見込めない状況であります。しかし、将来にわたって持続可能な財政運営を堅持し、多様な行政課題に的確に対応していくため、「選択と集中のさらなる徹底」を基本方針とし、限りある財源を「大震災を教訓とした災害への対応」、「保育所の待機児童対策」、「特別養護老人ホームの整備」など区政の喫緊の課題に即応するよう、長期計画事業を中心に重点的に配分しております。また、区民生活と区内中小事業者の経営の安定や、雇用支援のための経済対策にも取り組んでおります。

今後も、予断を許さない経済情勢と国政の動向を把握しながら、基本構想の実現に向けた区政運営に努めてまいりますので、区民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

この「練馬区勢概要」は、平成23年度を中心に、練馬区政の動向や区のあらましについて紹介しております。現在、区が進めている施策や直面する課題を、多くの皆さまにご理解いただくことを目的として作成しました。本書によって区の現況を概観し、将来を展望していただき、皆さまと手を携えて未来の練馬区を築いていくための一助となりますことを願っております。

結びにあたりまして、本書の編集に際し、区内の各官公署やその他の機関から資料をご提供いただくなど、多大なご協力を賜りましたことに心から御礼申し上げます。

平成24年9月



練馬区長 志村豊志郎